

平成27年度施策評価調査

整理番号	26
評価担当課	教育部図書館
職・氏名	

1 施策の名称等

施策名(基本事業)	文化活動拠点施設整備		
総合計画の位置づけ	基本目標	5	心豊かな人と文化を育むまちづくり
	主要施策	1	生涯学習社会の形成

2 施策の現状分析と意図

施策の対象、意図(誰、何をどのようにしたいのか)	郷土資料である地元新聞は、その地域にしか所蔵していない貴重な資料であり、保存・継承し長期に渡って市民に提供していくことが、図書館の責務である。利用による新聞原紙の劣化を防ぐために、マイクロフィルム化を図る。
施策の現状(現状どのような手段を講じているか)	名寄新聞のマイクロフィルムについては、昭和60年度から作成を始め平成21年度までに、昭和22年8月から平成17年12月までの59年分を作成し市民に提供している。
施策の課題	もうひとつの地元新聞である北都新聞は、昭和53年より原紙を保存しているが、新聞の劣化が進んでいるため利用者の取り扱いが大変であり、破損が多くみられる。これ以上の破損は、永久保存に支障をきたすためマイクロフィルム化の早期実施が必要です。

3 成果指標の達成状況

成果指標	指標の説明	区分	H24	H25	H26	目標年度(年度)
マイクロフィルム保有数	名寄新聞については、昭和60年度から作成を始め、平成21年度までに、平成17年12月分まで作成済み	目標値				平成28年度
		実績値	152	152	152	
		進捗率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
		目標値				
		実績値				
		進捗率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
		目標値				
		実績値				
		進捗率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
		目標値				
		実績値				
		進捗率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	

4 施策の達成状況

施策の達成度	理由・問題点等	評価基準
B	もうひとつの地元新聞である北都新聞のマイクロフィルム化が急がれる。マイクロフィルムリーダーの機器は平成21年度に更新したが、パソコンを使用した機器のため、10年をめどに更新が必要である。	A: 計画目標に向けて順調に推移 B: 計画目標に向かって概ね順調 C: 計画目標に向けて進捗はやや遅れている D: 計画目標に向け進捗は遅れている

5 今後の方向性

郷土資料である地元新聞を保存・継承し、将来にわたり広く市民の調査研究に支援を行うため、マイクロフィルム化を継続して実施する。

6 ワーキンググループの意見等

1次評価のとおり

7 外部評価の意見等

1次評価のとおり

8 2次評価の意見等

1次評価のとおり

9 施策を構成する事務事業

(1)H26年度実施事業

事業番号	事務事業名	事業の概要	H26決算額	1次評価						外部評価	2次評価
				妥当性	有効性	効率性	公平性	達成度	評価		
1	新聞のマイクロフィルム化	新聞のマイクロフィルム化を図ることで劣化を防ぎ、長い間資料として提供でき	0	a	a	a	a	b	A		

(2)その他の取組(既に終了した事業や予算を伴わない取組等(1)以外の取組を記入してください。)

平成27年度事務事業評価調書

整理番号	26	枝番	1
評価担当課・係・職名・氏名	図書館		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	新聞のマイクロフィルム化【保存資料のマイクロフィルム化】			
総合計画の位置づけ	有 無	基本目標	5	心豊かな人と文化を育むまちづくり
		主要施策	1	生涯学習社会の形成
		基本事業	2	文化活動拠点施設整備
		実施計画事業	1	社会教育施設整備事業

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	地元新聞の原紙そのものが酸化し、劣化が著しく取り扱いが大変でありマイクロフィルム化により、原紙の保存と利用の便を図る。			
対象(何を又は誰を)	名寄市民を対象とする。			
手段＝活動(仕事) (どのような方法で)	地元新聞は、重要な郷土資料であり保存と提供は、重要な図書館の使命のひとつである。マイクロフィルム化することにより長期に保存し提供することが可能であり、将来にわたり広く市民の調査研究に支援を行う。			
意図(どのような成果を期待しているか)	地域の資料を保存・継承し、利用の拡大が図られ市民サービスに貢献できる。			
事業実施主体	名寄市(市立名寄図書館)			
事業実施方法	直営	一部委託	全部委託	補助等 請負 その他()
事業実施期間	始期	1985年度	終期設定	有(終期年度) ・(無)
根拠法令・条例等				

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H24	H25	H26	H27見込	目標年度 (年度)
				目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	1 マイクロフィルム保有数 名寄新聞昭和22年8月～平成17年12月			目標				平成28年度
				実績	152	152	152	152
	2			目標				
				実績				
	3			目標				
				実績				
成果指標	1 マイクロフィルム閲覧数 名寄新聞昭和22年8月～平成17年12月			目標				
				実績	10	5	8	
	2			目標				
				実績				

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H24決算	H25決算	H26決算	H27予算	平成26年度の事業費内訳
事業費	0	0	0	0	
国道支出金					
地方債					
その他					
一般財源					
人件費	0	0	0	0	
平均給与額	6,683	6,629	6,629	6,629	
担当職員数					
総事業費	0	0	0	0	
対前年比(%)	—	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	コストの算出方法
事業コスト	活動指標1				
	活動指標2				
	活動指標3				

※H26及びH27年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	
改善点	指摘事項 有 () ---

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	本事業は、総合計画実施計画(第一次)登載事業である。地域の資料の収集・保存・提供は、その自治体においてなされなければならない。
有効性 目的を達成するための方法として有効か？	a	マイクロフィルム化することで、利用による原紙の劣化を防ぐことができ、長期の保存が可能である。
効率性 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	a	郷土資料である地元新聞の保存は、図書館の責務であり、現在の利用はさほど多くはないが次の時代へ受け継がれていくべきものである。
公平性 受益者負担は適正か、受益者に偏りがないか？	a	図書館法で無料の原則が謳われている。
達成度 活動指標、成果指標の達成度は？	b	名寄新聞は、昭和22年8月から平成17年12月までマイクロフィルム化されているが、北都新聞は未実施である。

5 1次評価

評価結果	理由	
A	郷土資料である地元新聞は、その地域の図書館しか所蔵していない資料であり、保存する事が図書館の責務である。資料の価値は、次の時代へも受け継がれていくべきものであり、将来の利用が予測される。そのために保存することが重要である。	
A:現状のまま継続	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	
B:進め方を改善		
C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)		

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	1次評価のとおり